

荻窪中学校 創立70周年 記念式典開催のお知らせ

平成28年6月に70周年行事実行委員会を立ち上げ、記念式典に向けて準備を開始しました。実行委員会は学校(6名)、学校運営協議会(3名)、学校支援本部(2名)、PTA(3名)、同窓会(2名)で構成されています。

本年度は、6月・7月・10月・2月に委員会を開催し、委員会の組織決定、役割分担、式典当日の大まかなスケジュールなどを検討しました。

来年度の実行委員会は、6月・9月・11月・2月に、記念式典を開催する30年度は毎月開催予定です。式典に向け今後本格的な準備に入りますが、学校関係の資料(写真、在校当時の学校からの配布物など)をお持ちの方は学校運営協議会まで連絡頂ければ幸いです。

式典の概要は以下の通りです。

開催日 平成30年11月10日(土) 午前：式典／午後：祝賀会

開催の目的

- (1) 創立70周年の歩みをふりかえり、学校の歴史や伝統に目を向け、今日の学校を築いた方々に感謝し、よりよい校風を作る気持ちを高める。
- (2) 創立70周年を迎えた喜びを味わい、以後の荻中教育活動・学校生活を充実していく意欲を高める。
- (3) 現在を土台として、今後の学校の益々の発展を、区当局や地域の方々、保護者、卒業生、在校生と共に誓いあう。



平成28年度 協議会の活動

| 開催月 | 主な議題 | CSと学校行事等との関わり |
|-----|---------------------------------------|---------------|
| 4月 | 学校運営協議会組織表 年間活動計画 | 新入生歓迎会 |
| 5月 | 学校経営計画 学校予算 | 運動会 |
| 6月 | CS予算 CSだより編集計画 17時間プログラムの年間活動計画 | 土曜授業参観 |
| 7月 | 学校経営計画評価 CS懇談会 | PTAとの懇談会 |
| 8月 | 学校施設設備点検 CSだより | 夏季休業日 |
| 9月 | 9月教育活動参観 教員の任用 | 土曜授業参観 |
| 10月 | 土曜授業参観 管理職の任用 | 学芸発表会 |
| 11月 | 10・11月教育活動参観 17時間プログラム | 生徒との懇談会 |
| 12月 | 12月教育活動参観 学校経営方針の検討 17時間プログラム | 授業参観(保育実習) |
| 1月 | 1月教育活動参観 学校経営方針の承認 17時間プログラム CS研修会 | 授業参観(理科出前教室) |
| 2月 | CS研修会 教育課程承認 | あいさつ運動 |
| 3月 | 次年度活動方針・活動計画検討 | 卒業式 |

発行元：荻窪中学校学校運営協議会

連絡先：〒167-0041 杉並区善福寺1丁目8番3号 ☎03-3399-0196 🌐<http://www.suginami-school.ed.jp/ogikubochu/>

杉並区立荻窪中学校

学校運営協議会だより Vol.12

平成29年3月15日 荻窪中学校学校運営協議会発行

『東京オリンピックに向けて荻中生のボランティアに期待』

荻窪中学校学校運営協議会 会長 徳田 達介

平成29年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

昨年のリオ・オリンピックにおけるアスリート達、とりわけ日本の選手団の活躍には、日本はもとより、世界中の人々に深い感銘を与え賞賛を浴びました。

それにもましてリオデジャネイロの市民の方々のオリンピックへのボランティアでの協力振りに絶賛したいと思います。オリンピックが始まる前は、ブラジルでオリンピックは？と、心配する人達もいましたが、リオの人々を初めてとするブラジルの人々のボランティアの方々の活躍で、何事もなく大成功で終わりました。閉会式でリオデジャネイロの市長から東京都の小池都知事の手にオリンピック旗が渡されました。今回の2020年、3年後には東京オリンピックに大勢の外国の人がやって来ます。東京オリンピックを成功させるため

には、多数のボランティアが必要になることでしょう。

現在の荻中の一年生が高校の一年生になっていて、ボランティアの一員として活躍できます様に、と願っています。その為には英語、社会科等を初めとする各教科を学ぶことではないかと思えます。

「17時間プログラム」に付きましては、アンケート等ご協力を頂き有難うございました。運営協議会の中で部会を作り、各部会で検討を重ねていることをご報告いたします。

荻窪中学校では、原則として毎月の第二土曜日の授業を保護者や地域の方々に見て頂きたく、学校を公開しています。是非、ご来校いただきますようお願い申し上げます。

『1年間の歩み』

校長 伊藤 陽一郎

荻中CSも指定から7年が過ぎ、昨年の10月で8年目を迎えました。その間、多くの方々の力に支えられながら、少しずつ活動の範囲も広がってきました。地域運営学校の認知度も高まり、地域からも信頼を集め、期待も高まってきました。そのような中、今年の荻中CSは、今まで以上に活発な取り組みを展開することができ、充実した1年間でした。

CS委員会内に設けた3つの部会組織では、学校行事の見守り、若手教員のOJT、学校関係者評価(以上「評価部会」の取組)、たよりの発行、荻中ごよみの作成、ホームページの立ち上げ(以上「広報部会」の取組)、土曜授業への講師招聘、CS懇談会の運営、生徒との懇談会の運営、CS研修会の実施(以上「サポート部会」の取組)、

を行いました。

中でも、昨年度の研究発表会に荻中CSが協力して取り組んだ「17時間プログラム」の活動は、区の特徴ある学校づくりの予算を頂き、PTAや生徒会・委員会、地域内諸団体と連携を図りながら進めることができ、大きな成果が得られたと自負します。この活動は、今後「17時間プログラム2017」として継続して取り組んでいきます。

このように活性化してきたCSの活動を支えるため、本校内に「地域活動部屋」を整備しました。その部屋は、PTAや「おぎすけ」とも連携が図れるような工夫も凝らしました。益々充実発展する荻中CSは、皆さまの厚い信頼を集め、ご期待に添えるよう今後とも頑張って活動をしていきます。どうぞよろしく願いたします。

『学校運営協議会(CS) 各部会の活動報告』

学校運営協議会(CS)は、今年度は3つの部会(「評価部会」「広報部会」「サポート部会」)を設けて活動しています。

<平成28年度 荻窪中学校 学校運営協議会 組織表>

| 部会名 | 仕事内容 | 担当者 | 備考 |
|------|---|--|------------------------------|
| 評価 | ①学校行事参観割り振り | ○徳田会長 ・田中職務代理・伊藤校長・飯高委員 | 評価部が中心になって「学校関係者評価委員会」を招集する。 |
| 広報 | ① 荻中ごよみ ② 学校運営協議会だより ③ CSホームページ ④ 議事録 | ○近野委員 ・猪鼻委員・事務局(関野主幹教諭) | |
| サポート | ①学校運営協議会研修 ②CS懇談会等日程調整・連絡 ③学校支援委員会との連携 ④生徒との懇親会 ⑤CS研修会 | ○下嶋委員 ・清水委員・三田委員 ・廣瀬委員・事務局(森副校長) | |

評価部会

学校行事や授業を全委員で分担して参観する計画を立て、学校関係者評価がしっかりと行える準備をしています。

<今年度の主な活動>

評価部会では、学校関係者評価の実施に関し、学校関係者評価委員会を中心となって招集するなどの活動を行っています。学校関係者評価委員会では、学校運営協議会や荻中学校支援委員会、PTAの代表の皆様から様々な意見をいただき、それらの意見が今後の荻中の教育活動に生かされ、地域と共に学校が改善されていくための機会となるよう取り組んでおります。

また、こうした評価がしっかりとされるためには、各委員が日々の学校の教育活動や生徒の様子をしっかりと把握しておくことが大切です。評価部会ではできるだ

け多くの学校行事や授業を全委員で分担して参観するよう、毎月の参観の計画を立て割り振りを確認しています。毎月開催される学校運営協議会では、協議事項の中で参観した様子を報告し合い、行事運営の問題点や改善点などについて協議しています。こうした話し合いは、荻中の生徒達が学校行事や授業に熱心に取り組む様子を全委員で共有できる嬉しい場にもなっています。今後もこれらの活動が学校の教育活動の改善に少しでも生かされていくよう取り組んでまいります。

広報部会

年2回の学校運営協議会だよりと荻中ごよみを作成します。また、ホームページでの広報活動ができるような準備も進めています。

- <今年度の主な活動>
1. 学校運営協議会だより Vol.11(2016年9月) Vol.12(2017年3月) 発行
 2. 荻中ごよみの発行 (2017年3月) 発行
 3. 毎月の学校運営協議会議事録の作成

サポート部会

懇談会や研修会を計画、実施して幅広い視点から学校の教育活動改善に向けて意見交換を行いました。また、土曜授業を中心とした教育活動に様々な講師を招聘している学校支援委員会との連携や、昨年度から引き継いだ「17時間プログラム」の取組みも他の部から応援を得ながら調査及び啓発活動を進めてまいりました。

<今年度の主な活動>

1. CS懇談会：7月4日 参加38名(PTA、教員、CS委員)
それぞれの活動報告及び17時間プログラムの「親子のコミュニケーションと電子メディア」についてグループ討議を行ないました。(学校運営協議会だより Vol 11参照)
2. 生徒との懇談会：11月30日 参加42名(生徒会役員、教員、CS委員)
CSについての説明の後、「親子のコミュニケーションと電子メディア使用の実態」地域や学校等への要望等について懇談しました。各家庭でのコミュニケーションの工夫、中学生は保護者の管理より自分ルールの確立が特に大切であり、家庭のルールも出来つつあることなどがわかりました。また、地域や学校への要望としては通学路の安全や学校施設の改善、授業のあり方、行事等への要望が出されました。
3. CS研修会：2月22日 参加28名(CS委員、PTA、教員)
「熟議とその実践の効果」をテーマに国立教育政策研究所の植田みどり氏を講師に招き専門研修を行いました。

11月30日 生徒との懇談会の様子

「17時間プログラム2017」の提言.....

昨年度、子どもたちの家庭や地域での生活について、保護者のみなさんや地域の方々に協力を得ながら考え、まとめた二つの提言。今年度はこの提言を元に地教連懇談会やCS懇談会、生徒との懇談会での話し合いを行い、さらにアンケートを通して荻中生の現状を調査しました。

CS協議会では、子どもたちの生活リズムを確立するための要となる親子コミュニケーションについての取り組みを続けていきます。



17時間プログラム 2017 提言 1

自分ルールを基に電子メディアと上手に付き合おう

電子メディアの利用は、生活のリズムを阻害する大きな要因となっています。生活のリズムの乱れは、勉強面、健康面と様々な所に悪影響を及ぼしかねません。家族や友達とよく話し合っ、自分のライフサイクルに合う「自分ルール」を基に、電子メディアを上手に使いこなしていきましょう。

17時間プログラム 2017 提言 2

本に親しむ時間と環境作りをしよう

小さい頃から親子で読書に親しむ時間を作るとはとても大切です。幼児期から小学校低学年の「読み聞かせ」も、家庭や異年齢集団の中で継続的に行われることで、言語能力の向上や学力の向上にもつながっていきます。